

<報道発表資料>

令和7年7月16日

京都市保健福祉局こころの健康増進センター相談援助課

令和7年度 ゲートキーパー養成研修の実施

誰もが誰かのゲートキーパー

—身近な人の悩みに気づき、相手の気持ちに寄り添える話の聴き方—

京都市では、「第3次 きょう いのち ほっとプラン（京都市自殺総合対策推進計画）」に基づいて、「誰も自殺に追い込まれることのない京都市の実現」を目指しています。

この度、その一環として、身近な人の悩みに気づき、相手の気持ちに寄り添える話の聴き方を学ぶゲートキーパー養成研修を開催します。

- 日時 令和7年9月2日(火)午後2時～4時（開場：午後1時30分）
- 場所 京都労働者総合会館 ラボール京都 2階ホール
（〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30-2）
- 対象 京都市内に在住・在勤・在学の方
- 内容 講演 誰もが誰かのゲートキーパー
—身近な人の悩みに気づき、気持ちに寄り添える話の聴き方—
講師：京都いのちの電話研修委員 中瀬真弓氏
- 定員 150名
- 参加費 無料
- 申込 直接会場へお越しください（先着順、申込不要）。
- その他 公共交通機関（電車、バス等）を御利用ください。

<ゲートキーパーとは>

悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。京都市では自殺の危険性が高い人の早期発見、早期対応を図るため、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができる「ゲートキーパー」の役割を担う人材の養成に取り組んでいます。

<お問合せ先>

京都市保健福祉局こころの健康増進センター相談援助課

電話：075-314-0355